

平成 23 年度ヒグマ活動期（5/10～7/31）の総括

1. 各種データより見るヒグマ活動期の総括

1) ヒグマ活動期知床五湖園地利用者数（参考資料 1-1～3）

地上遊歩道においては、5月10日～7月31日の間に、登録引率者のツアーとして、910 ツアー、6,519 名（登録引率者含む）の利用があった。平成 22 年度に知床五湖の利用のあり方協議会に示した利用予測数に対しては、その上位予測値を約 1 割上回る利用が得られた。なお、同時期の高架木道の利用者は利用者カウンターによる計測値（／補足率）で 116,603 名（昨年同期 106,881 名（9%増））の利用があった。

知床五湖駐車場の利用台数から算出した知床五湖の園地の入込概数は、5月が 26,317 名（昨年比 62%）、6月が 43,485 名（昨年比 69%）、7月が 62,371 名（昨年比 84%）となっている。

駐車場の 5-7 月の利用台数合計では、乗用車では平成 20 年比で 98%であるが、大型バスでは同比 47%と減少幅が大きい。駐車台数データは、他の道内の自然公園財団の駐車場施設の利用台数と比較しても、同様の傾向を示している。

2) ヒグマ活動期における地上遊歩道利用者のヒグマ目撃数（参考資料 2-1～4）

ヒグマ活動期の地上遊歩道において、83 日間で計 27 回のヒグマとの遭遇があり、うち 24 回で中止判断がなされた。遭遇回数は、5月 3 回、6月 5 回、7月 19 回と、7月に遭遇が多く、7月 3, 4, 5, 22 日の計 4 回ヒグマ対策チームによる調査が実施された。すべての遭遇において事故なく無事に利用者は帰還できた。

登録引率者からのヒグマの痕跡情報についてフィールドハウスに報告されているが、遭遇数が少ない 5, 6 月においても足跡や食痕など各月 20～30 件の報告がされている。

3) 知床ガイド協議会による当日案内カウンター（参考資料 3）

知床ガイド協議会により 7月1日～31日の間、知床五湖フィールドハウスにて登録引率者のツアーに対する当日案内カウンターを設置した。のべ 35 人がカウンター業務を行い、計 323 名（大人 316 名、小人 5 名、幼児 2 名 7月の地上遊歩道利用者の約 1 割に相当）に対し当日ツアー参加を案内することができた。